

一般社団法人 藤野観光協会通信

神奈川県相模原市緑区小淵 2000 番地 藤野総合事務所 4 階
TEL042-684-9503 FAX042-684-9504 <http://info-fujino.com>

Vol.4 発行日 2015 年 7 月 20 日



3つの観光振興事業、進行中

観光協会では、相模原市地域別観光振興計画に関する事業を市から受託しています。以下、その概要をお伝えします。

◎藤野北部地域(沢井・佐野川)観光振興推進事業(2年目)

昨年は陣馬山頂に藤野地区の魅力伝える看板を設置しました。今年は陣馬山から藤野駅までの道標、観光駐車場の整備、石橋尾神社の案内板設置などを予定しています。これらによって陣馬山などの登山客が一層増え、経済効果を生むことにつながるよう期待しています。



◎藤野南部地域(牧野)観光振興推進事業(1年目)

峰山登山道の整備、南部地域の観光情報を掲載したフリーペーパー発行、イベントに必要な用具の整備などを予定しています。温泉や芸術の家はもちろんですが、南部地域にある個性的な観光資源をより広く紹介し、訪れて下さる方が増え、南部地域の魅力がより広がっていくことを願っています。



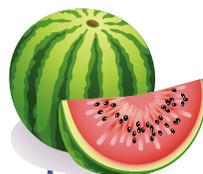
◎藤野中部地域(小淵・吉野・日連・名倉)観光振興計画の策定

中部地域の観光振興を促すために観光振興計画を策定します。小淵・吉野・日連・名倉在住の住民で構成される検討委員会を発足させ、住民の目線から観光振興がどうあるべきかを検討していきます。中部地域は駅からのアクセスが比較的よいです。この点を生かし、芸術の道、ハイキングコース、藤野園芸ランド、吉野宿など多彩な観光資源に多くの方が気軽に訪れてくれる計画を策定できればと思っています。



「藤野の観光について思うこと」

藤野観光協会 副代表理事 山崎睦文



ここ藤野で2代に渡り、日相園(釣り船、コテージ)と四季亭(和食)を営んでいます。四季亭の利用は地元のリピーター客が中心です。何度も足を運んで下さるお客様を飽きさせない為に、料理に季節感を持たせるようにし、四季ごとの味を楽しんで頂けるように心掛けています。そもそも四季亭という名前は、そういった思いと自分自身が怠けず季節ごとに料理を工夫していくという戒めの意味を込めて付けました。私が店をついで32年に成りますが、これまで商売を続けてこられたのも地元の皆様可愛がって頂いたからこそ今日があるのだと感謝しています。

コテージは学生を初め、若者の利用が多いのですが、若い人達を沢山呼びたいという思いから始めたこともあり、料金は低めに抑えています。それが受け入れられているのか、夏休みを中心に多くの若者たちが訪れてくれます。お客さんによく聞かれる質問に「近くに何か遊びに行くところはありますか」というのがあります。藤野には大きな娯楽施設はないのですが、豊かな里山や個性あるイベント

が沢山あります。例えば川遊びに連れて行ったり、ホテル祭りに案内したりしますが、それが大変喜ばれます。藤野らしい観光のあり方なのだと思います。



以前、観光協会の役員の方から藤野は「癒しの観光」を目指すべきだと聞かされた事があります。私も全く同感で、派手さは無くても「癒し」そのものが藤野に合う観光であって、大都会の雑踏から逃れ、フッと息抜き出来る場を求めている多くの人達にそうした場を提供できたらと思っています。

この藤野に新たに移住して来られた方の中には、芸術家や医師など多様な業種の優れた人たちが沢山いらっしゃると思っています。これからの観光協会に期待することとして、そのような方々をもっと藤野の皆さんに知ってもらい、交流を深めてもらうパイプ役を努めるということがあるのではないのでしょうか。さまざまな人達からアドバイスを頂く事が、新しい観光振興の大きなエネルギーを生み出す源になると信じています。



事務局より

去る5月、恒例の藤野ぐるっと陶器市が開催されました。年々規模が大きくなり、内容も充実し、お客さんも増えてきています。ただ、公共交通機関がない、駐車場も不足がちなど「足」の確保が課題になっていました。そこで観光協会では、ぐるっと陶器市事務局と協議し、藤野ふるさと芸術村メッセージ事業の一環として、シャトルバスを運行しました。初めての試みで不安もありましたが、お客さんには「今まで行きたくても行けないところまで行くことができとてもよかった」など好評でした。

